

表 1.インタビュー調査を行った病院薬剤師の背景

| | |
|-------------|----|
| 全薬剤師数 | 31 |
| 資格取得者数 (n) | |
| がん専門薬剤師 | 16 |
| がん指導薬剤師 | 8 |
| がん薬物療法認定薬剤師 | 3 |
| 外来がん治療認定薬剤師 | 1 |
| 性別 (男性, n) | 18 |
| 年齢 (n) | |
| 60代 | 0 |
| 50代 | 7 |
| 40代 | 11 |
| 30代 | 10 |
| 20代 | 3 |
| 勤務歴 (n) | |
| 20年以上 | 13 |
| 10年以上 | 12 |
| 5年以上 | 5 |
| 0-5年目 | 1 |

図 1.病院薬剤師へのタスク・シフト/シェア進展へのキーポイント

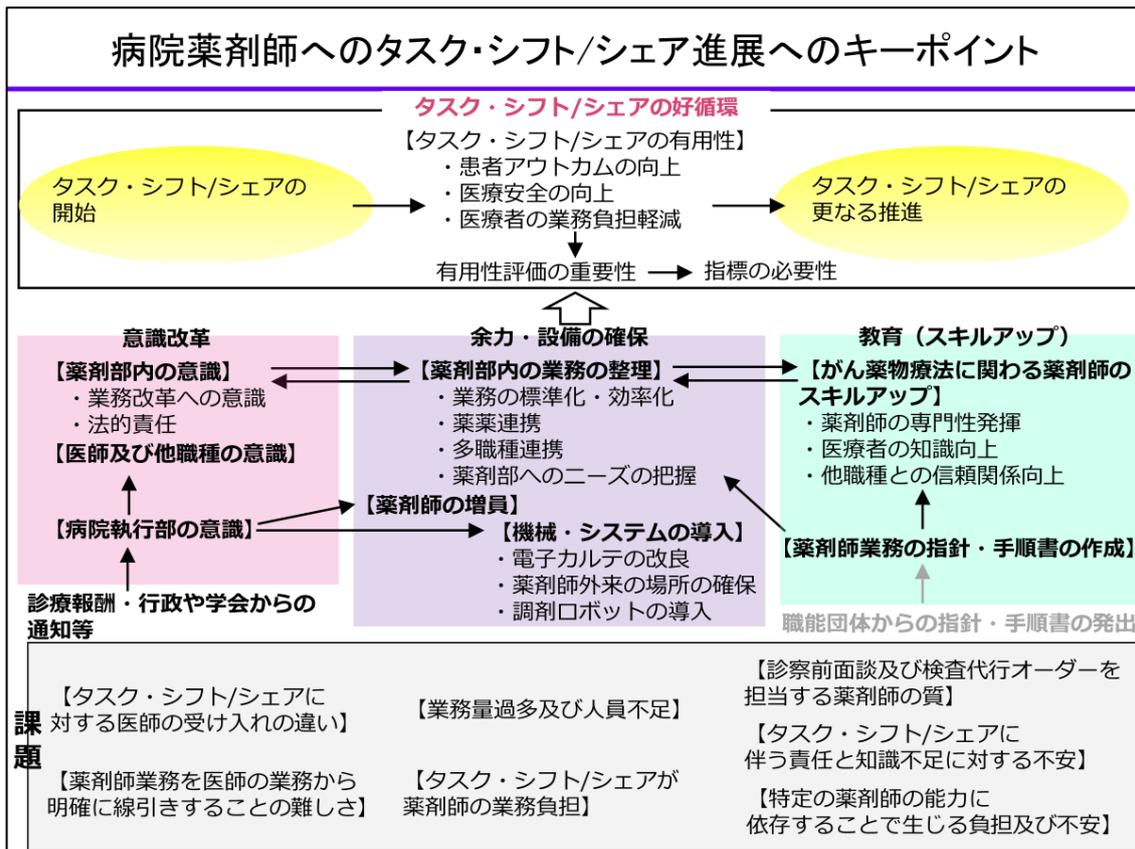


表 2.医師がもつタスク・シフト/シェアへの印象と今後の期待

・診察前面談について

| 現時点での課題 | 現時点での課題に対する解決策 |
|---|--|
| 薬剤師のカルテを見ないことがあり、見逃してしまうことがある。 | 電子カルテ上で連携できるようになると医師の方も薬剤師のカルテを確認しやすい。 |
| 薬剤師が事前面談をしている患者を全員は把握できていない。 | 診察前面談を実施している患者を把握できるようにしたい。 |
| 診察前面談が診察の律速になっている場合がある。 診察前面談を少ない人数で担当していることが背景として考えられるのではないか。 | 薬剤師数を増やしてほしい。 薬剤師数を増やすために、効果を示す結果を出すことが必要。 状態が安定している患者さんについては診察前面談を入らなくてもいいかもしれない。 |
| 自分の治療方針と食い違う場合がある。 薬剤師は安全面を考えて診療ガイドラインなどに従って提案してくれているので、積極的な治療に関しては方針が異なるのではないか。 | |

| 期待すること | 期待することに対する課題とその解決策 |
|---|--|
| 確立している PBPM を他の診療科にも拡大して、最終的には薬剤師の仕事にしてほしい。 | 診療科による受け入れの違いが課題としてある。タスク・シフト/シェアに関する周知と成功体験が重要。 |
| 経口抗がん剤の服薬指導 | |
| 抗がん剤調製室以外の外来棟で処方される抗がん剤についての説明 | |

・支持療法や抗がん剤の処方提案について

| 期待すること | 期待することに対する課題とその解決策 |
|---|---|
| Do 処方や決まった変更内容については代行処方してほしい。 | どこまで薬剤師にお願いできるかがわからない。 |
| 薬についてはできれば全部お願いしたい。 | 薬剤師の責任の問題。 |
| 薬剤に関することは全てお任せしたい 有害事象の管理はお任せしたい Do 処方も代行処方をお願いしたい" | 薬剤師による有害事象の評価が標準化できるような情報共有などのシステム化ができればいい。 |
| | 医師は、Grade3 程度は評価するが、Grade1 は見逃してしまう。 薬剤師は逆に Grade1 も評価するので、有害事象を取りすぎてしまうのがまた問題としてある。 |
| 聞き取れていない副作用があれば、副作用の種類に限らず、拾い上げてくれるとうれしい。 | |
| ケモの代行オーダー | 事前の取り決めがあれば実現可能ではないか。コミュニケーションをしっかりとって行っていけると良い。 |

・検査の提案について

| 期待すること | 期待することに対する課題とその解決策 |
|--|--|
| 遺伝子検査オーダーの提案または代行オーダー。 | タスク・シフト/シェアが当たり前になると、違う病院に行ったときに、その業務ができなくなる恐れが医師側にある。 |
| 患者の安全（有害事象の発現）に関わる検査の提案。 | |
| irAEに関連するホルモン値（内分泌系）の検査の代行オーダーをしてもらえるとありがたい。 | |
| 検査の代行オーダーを行ってほしい。 | 事前の取り決めが必要。 抗がん剤の種類や患者によって頻度が変わる検査は難しいかもしれない。 |
| 検査の代行オーダーを拡大したい（採血そのものを入れてもらえるとありがたい）。 | 委員会に出すことが一番のハードル。 現場が持っている課題を委員会で提示できると良いのではないか。 |

・トレーシングレポート

| 現時点での課題 | 現時点での課題に対する解決策 |
|--|--|
| 送られてくるトレーシングレポートの重要度が分からず、あまり活用できていない。 | トレーシングレポートの重要度に強弱をつけてもらえると意識が向きやすい |
| | 薬の変更や新しく追加するなど、医師のアクションにつながるものは報告してほしい |

| 期待すること | 期待することに対する課題とその解決策 |
|---|--|
| 門前薬局、院内薬局での処方変更ができるといい（薬剤の重複などによる） | 門前薬局が行っている副作用評価の正確性が不明 |
| 他の診療科の医師が行っている処方がどうなっているかは分からないが、抗がん剤調製室以外の外来で処方された抗がん剤の支持療法についても薬剤師が参加できるとよいのではないか | 薬剤師業務があまり認識されていない可能性がある（特に外来で勤務している医師） |

・その他

| 期待すること | 期待することに対する課題とその解決策 |
|--------------------------|--|
| 他の診療科へのタスク・シフト/シェアの拡大 | 医師によってタスク・シフト/シェアに対する印象が異なる可能性がある |
| | 他の診療科がタスク・シフト/シェアを認知していない可能性がある |
| | その先生がどのようなことを望んでおられるかを聴取する 取り組みやすいPBPMから始めてみる |
| | 受け入れが進んでない医師に成功体験を積んでもらえるようにするといい |
| | 薬剤師のワークフローが見える化できると、タスク・シフト/シェアがより進むのではないか |
| | 薬剤師の質・マンパワー、全体への周知が必要 成功体験があればより進むのではないか |
| | 施設間で薬剤師のマンパワーややる気が異なるのではないか |
| 患者からの電話対応・質問対応をしてもらえると良い | 倫理面を考えたルールを整備する段階が大変 |